

様式1 平成25年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	本巣市	学校名	本巣市立根尾中学校			
校長名	竹中須美子	対象学年	全学年	人数	33名	
活動名	桜学習		時間数	12時間	継続年数	17年
題材	① 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [淡墨公園・根尾川] ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [国指定天然記念物「淡墨桜」] ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [国指定重要無形民族文化財「能郷の能・狂言」] ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [] ⑤ 絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 [] ⑥ その他（ ） []					
複数年継続するための工夫改善	○桜学習（観光ガイド）を、教科の授業において大切にしている「言語活動の充実」と関わらせながら、相手を意識した「話し方・聴き方」を実践する場として位置付けるようにした。					

1 ねらい

◎ふるさとの象徴である淡墨桜について、観光客の立場に立って伝える活動「桜学習（観光ガイド）」を通して、ふるさとに対する愛着や誇りに思う気持ちを育むとともに、地域の一員として自分たちにできることを進んで実践しようとする態度を養う。

2 活動の概要

(1) 学習課題

○自作のパンフレットを使って、淡墨桜についての情報や淡墨桜に対する自分たちの思いを、観光客の方の立場に立って伝えよう。

(2) 学習活動（「桜学習」に関わって）

時	ねらい	主な活動内容
①	[3月11日] 昨年度の観光ガイドを振り返り、今後の活動への願いや見通しをもつ。	・観光客から届いたお礼の手紙を読み、観光ガイドへの願いをもつとともに、お互いの思いを班で交流する。
②	[3月13日] 淡墨桜の特徴や歴史、桜を守る活動を知り、活動への意欲をもつ。	・淡墨桜の下で、樹木医さんから桜を守る活動の様子を聞く。さくら資料館で、淡墨桜の特徴や歴史を調べる。
③	[3月14日・19日・22日] 観光案内に必要な情報を収集し、観光客用パンフレットとしてまとめる。	・「資料の収集・選定→観光客の立場に立ったレイアウト・内容の吟味→班で分担して作成」という過程でパンフレットを作成する。
④	[3月25日] ガイドマニュアルをもとに、相手意識に立って観光ガイドの練習をする。	・ガイド役と観光客役に分かれて役割演技をし、お互いにアドバイスしながら説明の練習をする。
⑤	[4月10日] 職員を相手にリハーサルを行い、会話を円滑にするためのヒントを学ぶ。	・「最初の声かけ→パンフレットを用いた淡墨桜の説明→お礼のオカリナ演奏」という流れでリハーサルをする。
⑥	《観光ガイド当日》 [4月11日] 2～3人の班に分かれ、観光客に積極的に声をかけ、観光ガイドを行う。	・淡墨桜周辺で観光客を相手に桜のガイドをする。観光客の反応をもとによりよいガイドの方法を自分たちで試行錯誤する。
⑦	[4月12日] 観光ガイドを終えて、学んだこと・ふるさとへの思いについてまとめる。	・自分が成長できたことや地域の一員としてできることを班で交流する。お礼の手紙に対する返事を書く。

3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

・春の観光ガイドでの体験をもとに、生徒会を中心に「ふるさと根尾」に対して愛着と誇りをもつ活動として、地域住民にも参加を呼びかけ、以下の活動や授業公開を実施した。

4月 淡墨公園清掃活動（ゴミ拾い）【別紙資料2】

8月 MSJ活動（淡墨公園の池清掃）＊岐阜淡墨ロータリークラブと協働【別紙資料4】

8月 根尾川水系愛掃活動 ＊根尾地域青少年育成推進員と協働【別紙資料4】

8月 宗次郎淡墨桜コンサートに出演 ＊根尾の自然をオカリナの演奏で表現【別紙資料5】

11月 総合的な学習の時間の発表（保護者・地域住民参観）

＊「心豊かな郷土「伝統芸能・歴史・福祉」」をテーマに、追究した内容を発表。

4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）

・本校では、ふるさと学習として、生徒会活動として取り組む「オカリナ」や地域での清掃ボランティア、総合的な学習の時間での「地域学習」に取り組んできた。ふるさと学習を通して、本校が地域行事への参加を積極的に行ってきたことは、地域との絆を深め、地域を支え、地域とともに歩もうとする心を育てる学びとなっている。